

介護を必要とする高齢者、 認知症高齢者も年々増えています

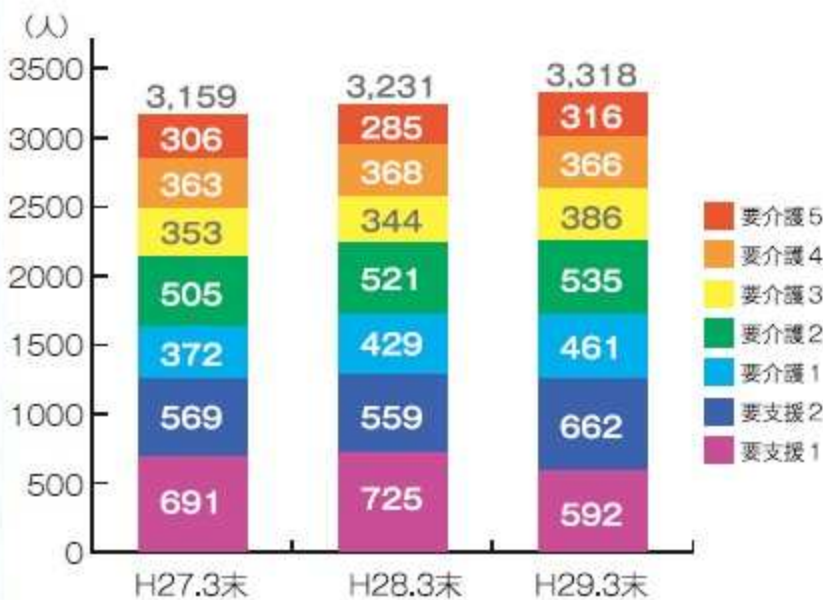


中央区の要介護（要支援）認定者数は年々増加し、引き続き増加していくものと見込まれます。

また、介護認定を受けている高齢者の日常生活自立度Ⅱ以上の方（認知症高齢者等）も年々増加しています。後期高齢者の増加に伴い、国の推計では、2025年には高齢者の5人に1人が認知症患者と見込まれています。

中央区の要介護（要支援）認定者数の推移

・大阪市福祉局資料



中央区の認知症高齢者等の推計 （居宅の日常生活自立度Ⅱ以上）

・大阪市福祉局資料



高齢者は終末期には 自宅で過ごしたいと 思っています

65歳以上の高齢者から無作為に抽出した方に対して、平成28年に行ったアンケート調査では、終末期に過ごしたい場所について「自宅」が最も多い結果となっています。

高齢化の進展により、ひとり暮らしの高齢者、医療と介護サービス双方を必要とする高齢者、認知症高齢者などの増加が見込まれ、併せて、終末期には自宅で過ごしたいニーズが高いなか、在宅での生活を支えていくには、医療と介護の連携推進を図っていく必要があります。

中央区在住の高齢者が 終末期に過ごしたい場所

・大阪市福祉局「大阪市高齢者実態調査報告書」
（平成29年3月）

